記者発表資料

平成２７年　６月１０日
国土交通省東北地方整備局
最上川ダム統合管理事務所

寒河江ダム　『フラッシュ放流』の実施

～　下流河川の環境改善を目的として　～

寒河江ダムでは、ダムから下流の水ヶ瀞ダム(東北電力(株))までの約５km区間において、河川に堆積した泥や浮遊藻類を流掃し、河川環境の改善を図ることを目的に、フラッシュ放流を行います。

フラッシュ放流の期間は、６月下旬から１０月上旬までの毎週木曜日に実施します。

第１回目は、６月１８日１０時から徐々に放流量を増やしていき、**最大放流量３０m3/sで３０分間継続**します。その後、放流量を６m3/sに減らし３０分間継続して終了します。

今年度は合計１７回のフラッシュ放流を計画しており、その放流毎に最大放流量を変えて放流（１０m3/s、２０m3/s、３０m3/sの３パターン）する事としております。

なお、フラッシュ放流の前に出水があってダム放流を実施した時は、フラッシュ放流を中止することもあります。

【フラッシュ放流とは】

川を流れる水の量の変化が少ない状態が長い時間続くと、「よどみ」が発生し、河床（川底）に藻類の繁殖や汚れなどがついたままとなったりします。これは、環境・景観に対して好ましくありません。ダムで貯めている水を定期的に放流することによって、“よどみ”の発生を抑え河川をリフレッシュする効果があります。

平成９年度から試行及び試験を行い、平成20年度から運用しています。

【記者発表会：山形県政記者クラブ】

＜問い合わせ先＞
国土交通省東北地方整備局　最上川ダム統合管理事務所（寒河江ダム）
技術副所長　高橋（たかはし）　長幸（ながゆき）　（内線２０４）
管理課長　大河原（おおかわら）　正吉（まさよし）（内線３３１）
電話：0237-75-2311（代表）　0237-75-2312（管理課直通）
住所：山形県西村山郡西川町大字砂子関158

【フラッシュ放流】

フラッシュ放流に伴う川の水位・流量変化は、午前１０時から放流を開始し、１２時頃が最大の水量となり、３０分ほど経過後水量を減少させます。１５時頃にはフラッシュ放流前の状態に戻ります。

この期間に寒河江ダム～水ヶ瀞ダムの寒河江川で釣りなどをされる方は注意して下さい。

【過去のフラッシュ放流状況写真】

◆フラッシュ放流前



浮遊藻類があります。

◆フラッシュ放流中



川の水位が上昇します。

◆フラッシュ放流後



浮遊藻類が流されました。

平成２７年度　寒河江ダムフラッシュ放流実施予定表					
月日	開始時刻	最大放流量	継続時間	後放流	継続時間
6月18日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
6月25日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
7月2日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
7月9日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
7月16日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
7月23日	10:00	10m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
7月30日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
8月6日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
8月13日	10:00	10m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
8月20日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
8月27日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
9月3日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
9月10日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
9月17日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
9月24日	10:00	10m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
10月1日	10:00	30m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
10月8日	10:00	20m3/ｓ	30分	6m3/ｓ	30分
回数	17				